

三和地区市政懇談会

11月16日に美化シンポジウム

みんなの討議で。。。 ハエ、ごみ問題解決へ

公民館事業の一環として、三和地区で初めての市政懇談会が十月十八日夜、住民約五十人が参加し地区公民館（竹内春館長）で開かれました。市からは小笠原市長、浜田助役、関係課長らが出席し、地元の抱える問題など約三時間にわたって熱心に話し合いました。

話し合いの内容は。

○海岸地域のハエ問題は深刻だ。何とかならないものか。



7月21日には地元の住民ら約1,700人が十市から久枝までの海岸を一斉清掃

●十四～五年前から問題となり、その原因はハウスに使う肥料にあることは、はっきりしている。農協の園芸部とも協力し、肥料の中に薬剤を混ぜるなどの処置をして対応しているが、まだ決定的な効果が上がっていない。現在の他の肥料でやれないかモデル研究をしており、また家庭からの成虫駆除にも協力を願っているところだ。十一月ごろに、堤防の堆積ごみの問題も含め、海岸地域美化のシンポジウムを計画しており、地域のみんなで研究、討議をしてもらい、環境美化を進めていきたい。

○指定のごみ袋を使用しないで、スーパーなどの袋を使って出している人もいるのでは。

●処理の上からも、分別収集は徹底しなければならぬ。最近、ごみステーションのよこが言われており、スーパーなどの袋では衛生的にも問題がある。ステーションはごみ捨て場ではないということをしつかり認識してもらい、決

められた時間に、正しく分別して出してもらいたい。

○空き缶、空きびんのポイ捨ては後を絶たない。市として、どんな取り組みをしているのか。

●機会あることにアピールしている。環境週間には子供たちにも呼びかけ、啓発事業に取り組んでいるが、モラルの問題でもあり妙薬はなく、美化意識の高揚を今後積極的に進めていきたい。

○国保係から「医療費のお知らせ」が送られてくるが、何か突き付けられるような気持ちになる。

●突き付けるというのではなく、皆さんが支払った医療費を確認してもらおうという意味です。

○久礼田に体育館兼用の施設ができるようだが、南部地区に体育施設をつくる計画はあるのか。

●久礼田体育館は、比江山の木材団地誘致に伴う、国の高率の補助を受けて建設している。公民館としての役割も持つもので、北部地域を含めた体育施設というものはない。

○文化ホールを建設する計画は。

●文雅協や婦人会などからの要望も多い。しかし、現在の財政状況からは厳しい面がある。四〇習近くが木造校舎であり、まず学校施設の整備を急ぎたい。

○市役所にいつ行っても、車を置く場所がない。駐車場の管理を考

えてみては。

●議会やいろいろな会があるとき混んでおり、現在東隣りの空き地に駐車場を設けるよう進めている。

○職員の対応が悪い。登庁時間が厳守されていないように思う。

●勤務時間を守ることは、公務員の第一条件だ。一人でも市民の皆さんに批判されることのないよう、教育と指導を徹底していきたい。

○職員が多過ぎはしないか。昼休みの窓口業務を早く実施してもらいたい。

●職員数は、職員一人当たりが抱える市民の人数は百六十人と県下の市の中では最も多く、他の市に比べ職員数は少ない。昼休みの窓口業務は、基本的には実施すべきだと考えている。現在、職場でもどの範囲までの窓口業務をしていくか、検討しているところだ。

○海岸の国有地の払い下げはできないものか。

●国が保安林としていたので、まずその指定をはずさなければならぬ。それには、地元全員の同意がなければならず、その後に払い下げとなってくる。

そのほか、「三和地区内の下田川後川の改修を早くしてほしい」「道路舗装など、約束したことはきちっと守るべきだ」「要望を出したものは、現地視察を必ずやつてもらいたい」——などの意見が出ていました。